

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

newsline

2018/9

平成30年度北部地域組合代表者会議を開催	1
特集 2018年版 小規模企業白書の概要 NO.3	2~3
中央会NEWS 平成30年度組合事務局代表者会議を開催	4
平成30年度京都市中小企業等チャレンジ支援事業の取組	4
働く女性応援講座を開催	5
京都青年中央会 平成30年度N-CAPサミット(北部代表者会議)を開催	5
関係団体の通常総会開催状況について	5
京もの愛用券について	6
再発見! 連携のチカラ No.110 滋賀県建具協同組合(滋賀県)	8
京都府中小企業団体中央会 機関誌「協同」有料広告の募集について	8
会長コラム No.71 LGBT	11
京都経済お天気	11
平成30年度中小企業組合検定受験対策講習会のご案内	12

平成30年度北部地域組合代表者会議を開催

平成30年8月3日(金)、京丹後市峰山町のプラザホテル吉翠苑において、平成30年度北部地域組合代表者会議が開催され、組合代表者及び行政・関係機関等からの来賓出席者を含め、延べ145名が参加した。

はじめに、本会 山下信幸副会長より主催者挨拶、続いてご来賓を代表して西脇隆俊京都府知事よりご祝辞をいただいた後、第一部の講演会を開催した。



(講演会講師) 丹後機械工業協同組合
山本理事長

講演会では、丹後機械工業協同組合 理事長 山本 正氏を講師としてお招きし、「歴史を積み重ねて70年、そして30年先を見つめて」と題してご講演いただいた。講演要旨は以下のとおり。

丹後地域の組合や中小零細企業は、これまで順調に発展し続けてきたわけではなく、数々の困難を乗り越えてきた。組合が更に、30年先を見据えたとき、①親企業依存の企業体質、②既存産業分野での限界、③技術シーズの不足、④設備や既存技術の限界、⑤高度技術者の育成と確保、⑥環境負荷に対する制約、⑦交通インフラ整備の遅れ等の問題が立ちだかる。これらの課題を解決するために、組合や企業として何ができるのか常に考え、実践をしてきたが、手を尽くしても解決の糸口すら見出せない問題がある。それが、現在、日本中が苦慮している人材(人財)不足である。

急激な少子化、人口減が進む地方であればあるほど、この問題は深刻になってくる。どんなに素晴らしい技術があっても、新規採用は物理的に困難な時代となっている。これが、地域の製造業の現実である。

そこで、地域の活性化のために組合として何ができるのかを考えたとき、「故郷にも働く場があることを若者に情報提供すること」が組合の使命であると考え、可能な限り即効性のある取組、又は、遠い将来に向けた取組事例等について紹介された。

最後に「産業の活性化なくして地域の活性化は無い」と丹後機械工業協同組合の地域振興に込めた想いを述べられ、講演会が終了した。

第二部の交流懇親会では、本会 渡邊隆夫会長が開宴の挨拶を行った後、ご来賓を代表して京都府丹後広域振興局 西村紀寛局長、京丹後市 三崎政直市長、京都府商工会連合会 沖田康彦会長から祝辞を頂戴した。その後、京丹後市商工会 行待佳平会長のご発声により乾杯、終始和やかな雰囲気の中で歓談交流が行われ、本会 早瀬隆之副会長による中締めとなり閉会した。



開会挨拶 山下副会長



来賓代表挨拶 西脇京都府知事



開宴挨拶 渡邊会長



中締め挨拶 早瀬副会長

みのがすな みぬふりするな みすてるな みんなの勇気で 助かる心

京都人権啓発推進会議/京都府中小企業団体中央会

前号では、小規模事業者の労働生産性の向上に向けた取組について、設備投資・企業間連携と労働生産性との関係性に焦点を当て考察した。本号は、白書の第3部「活躍する小規模事業者の姿」の中から、地域環境に調和した店舗運営を行う事業者、ライフスタイルの変化に応じた多様な女性の働き方を支える事業者の事例を紹介する。

地域に合った顧客層の開拓を目指す小規模事業者

京都府京都市の pousette（従業員なし、個人事業者）は、がまぐちの制作・販売を行う小規模事業者である。代表の小川大介氏はがまぐち職人として、商品の一つずつ手作りで製作している。

小川氏は、2004年、京都のがまぐち店に就職した。企画営業としての採用だったが、がまぐちづくりを学び、ミシンを踏んで製作に携わることもあった。その後、大手生活雑貨メーカーに転職したが、日々の暮らしを彩る雑貨を自ら制作したいという思いが強まり、起業を思い立った。そこで、勤務を続けながら、オリジナルデザインのがまぐち制作を開始した。

2007年、京都の寺社仏閣で伝統的に開催されている手作り市で、がまぐちの販売を始めた。顧客との会話の中からニーズを掴み、デザインパターンを増やしていった。市での販売実績から、顧客のニーズが高まってきたと判断し、勤め先を退職し、2009年店舗を構えた。店舗は、建替が難しい京都の長屋の利活用に悩むオーナーの声をかけを受け、若手クリエイターが集う「あじき路地」に設けた。

小川氏が作るがまぐちは、様々な顧客の日々の生活に溶け込むように、フランスや北欧製の生地、レース・リネン等の素材、オリジナルの縫製パターンを多数用意し、顧客の好みに合わせてオーダーメイドで製作される。米国シンガー社の1925年スコットランド工場製の足踏みミシンを使うことで、使い馴染みしやすい縫い目や質感にもなっている。このようながまぐちは人気を集め、顧客は全国へ拡大した。

2016年、京都の郊外にある一乗寺に移転し、地域に密着しながら営業している。一乗寺は閑静な住宅街であり、そのような環境に調和しながら、ゆったりと接客できる店舗づくりを目指している。近隣にある京都造形芸術大学等から、学生のインターンを積極的に受入れ、起業やものづくりの楽しさを伝える取組を行っている。地域の小規模事業者と商品のパッケージデザインやオリジナル生地のコラボレーションも開始した。

「手作り市から活動を始め、店舗を構えて8年目を迎えます。一人では大変なこともありますが、自分以外誰にもできない仕事で、顧客に喜んでもらっている充実感があります。これからも、がまぐち職人として自己研鑽を続け、顧客や地域の人々の役に立つような取組を行いたいです。」と小川氏は語る。



小川大介氏



がまぐち（上）、店内のインターンの様子（下）

多様なライフスタイルの女性の働き方を支援する小規模事業者

東京都世田谷区の株式会社Polaris（従業員3名（役員）、資本金130万円）は、育児や介護等のライフスタイルの変化に応じた女性の多様な働き方を支援する小規模事業者である。

取締役ファウンダーの市川望美氏は、自身の子育て経験や、同社創業前に設立していた子育て支援に関するNPOでの活動を通じて、子育て中の女性が地域の中で働く支援をしたいと考えた。2011年、育児期の女性が互いにコミュニケーションをとりながら働く場として、「ワーキングスペースcococi（ココチ）」を立ち上げ、その後2012年2月に同社を創業した。

同社では、育児等により働く時間を十分に確保できない女性に対して、様々な働き方ができる受託業務を提供している。300人程が同社に登録しており、地域内の事業者の事務処理業務や、データ入力や翻訳といった在宅でできる業務等を受託している。また、SNSを活用し、子供が急に発熱した際等、互いに業務のサポートができる環境を整えている。SNSやココチを通じて、子育て女性同士が仕事を軸としたコミュニケーションをとることができ、今後のキャリア形成を考えるきっかけにもなっている。

また、同社に登録する女性は、ライフステージに応じて、仕事への関わり方を変えている。子育て等が一段落し、得意分野を活かして起業を目指す女性に対して同社は起業塾を開催しており、受講後にココチ等を通じ複数人で連携して業務に取り組み、そのチームで起業する例もある。同社は、子育て女性の働く場を提供することを通じて、起業者の芽を育てるプラットフォームとしての役割を果たしている。

「昨今は、ライフスタイルに応じて、起業の在り方も変化しています。働き方の多様化が進む中で、自分の置かれた環境に応じて最も良い働き方を選べるよう、これからも子育て世代を中心に支援していきます。活動を通じて長期的には社会の働き方の変革を後押ししたいと思います。」と市川氏は語る。



市川望美氏



合宿での交流の様子

2018年版「小規模企業白書」の全文は、中小企業庁のホームページでご覧になれます。
http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H30/PDF/h30_pdf_mokujisyou.htm

【お問合せ先】 中小企業庁事業環境部調査室
電話 :03-3501-1764 FAX:03-3501-1207



平成30年度組合事務局代表者会議を開催

本会では、7月10日(火)、ホテルモントレ京都において、組合事務局代表者会議を開催。冒頭、本会大里茂美専務理事の挨拶の後、本年4月に「京都働き方改革推進支援センター」を開設したことに伴い、同センターの企画による「働き方改革セミナー」を開催し、社会保険労務士の木下和正氏から「働き方改革～労働時間制度の改正と助成金の活用について～」というテーマでご講演をいただいた。40分という限られた時間の中ではあったが、①時間外労働の上限規制の導入②高度プロフェッショナル制度③勤務間インターバル制度を中心に制度の概要や助成金について、スライドを使って丁寧に説明いただいたことにより、参加者には長時間労働の是正対策を学ぶ良い機会となった。



講師 木下和正 氏

会議では、本会担当者から現在公募中の助成金制度の紹介等を行ったほか、京都府商工労働観光部ものづくり振興課主任の長谷川大祐氏から、府が今後補助金の公募を予定している新規事業の骨子案や、組合員にとって関心の高い事業承継税制等についてご説明いただいた。また、京都市ごみ減量推進会議事務局の藤田一美氏から「秘密書類リサイクル事業について」というテーマで取組のご紹介もあり、非常に盛りだくさんの内容となった。

平成30年度京都市中小企業等チャレンジ支援事業の取組

京都市と京都府中小企業団体中央会では、中小企業等で構成する業界団体が専門家の助言を得て自らの強み・弱みを分析し、課題解決やイノベーションの創出など、業界全体の活性化を図るため、「中小企業等チャレンジ支援事業」を実施している。

本年度も、専門家による調査分析を行い課題解決のための手法を導き出す「課題解決手法調査(Step1)」と、課題解決手法を用いて業界団体が自ら試行的に実施する事業に対して支援を行う「ビジネスモデル試行実施事業補助金(Step2)」を実施し、平成30年7月24日に開催した審査会の審査の結果、以下の団体が本事業に取り組みることとなった。

Step1 採択団体 京都織物小売協同組合

Step2 実施団体 京都府漬物協同組合、京都府瓦工事協同組合

※Step1(課題解決手法調査)は業界の課題は認識しているものの、それを打破するための手法が見いだせていない業界団体を対象に、経営コンサルタント等の専門家の協力の下、具体的かつ実効性のある課題解決のための手法(ビジネスモデル)を導き出す取組(調査)を実施します。

※Step2(ビジネスモデル試行実施事業補助金)は、業界の課題解決のための手法(ビジネスモデル)は見いだせているものの、その経費を捻出できない等の理由からアクションを起こせていない業界団体を対象に、業界団体の新たなビジネスモデルの試行を支援します。

アイシーエル人材育成研修 定員 各20名

平成30年

新入社員

フォローアップ
研修

対象：入社半年程度の新入社員、新入社員
時間：10時～17時

中央会会員様
表示金額より
10%OFF

¥10,800税込

※①②いずれの研修も同じ内容となります

日程

①	10月15日(月)
②	11月26日(月)

中央会特別会員

icl

株式会社アイシーエル

☎075-708-7253

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail training@icl-web.co.jp

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

営業時間 9時～18時(土・日・祝日は休業)

働く女性応援講座を開催 ～活気ある職場作りのためのコミュニケーション～

本会女性部組織である京都府中小企業女性中央会（会長 伊庭節子：本会理事・八島おかみさん会会長）と連携し、更なる活躍を目指す女性を応援するため8月9日（木）、京都ウィメンズベースアカデミーにおいて、「働く女性応援講座」を開催した。

第1部のセミナーでは、一般社団法人チャレンジD L I F E 代表の畠中直美氏を講師に招き、『活気ある職場作りのためのコミュニケーション』をテーマに、職場におけるコミュニケーション及び合意形成の重要性について説明を受けるとともに、合意形成を意識したワークショップ「月脱出ゲーム」に取り組んだ。

第2部のMOCOカフェでは、京都府中小企業女性中央会 副会長の和田登美子氏の進行により、4グループに分かれて「活気ある職場作りのためのコミュニケーション」をテーマに意見交換を行った。



第1部 セミナー

京都青年中央会 平成30年度N-CAPサミット（北部代表者会議）を開催

京都青年中央会（会長 岡野恵美）では7月14日（土）、舞鶴市において、N-CAPサミット（北部代表者会議）・交流懇親会を開催し、8団体19名の代表者等が参加した。

本サミットは、今年度最初の北部事業として京都府北部の会員青年部へ京都青年中央会の平成30年度の事業計画や年間スケジュール等の説明を行うと共に、会員青年部の更なる連携強化に繋げることを目的として実施した。また、サミットでは、平成30年7月豪雨災害に伴う被害状況について出席者より、舞鶴・綾部・与謝野町を報告。岡野会長より京都青年中央会として京都府内の友好青年団体（14団体）等と連携し、今回被災された青年部・構成員企業だけではなく、北部の被災事業者が1日でも早く復旧ができるよう活動をして行きたいと述べられた。



関係団体の通常総会開催状況について

本年度も無事総会を終えられましたこと、ご報告いたします。

京都青年中央会（会長：岡野恵美）
京都府中小企業女性中央会（会長：伊庭節子）
一般社団法人京都府食品産業協会（会長：山本隆英）
京都伝統工芸協議会（会長：田中雅一）
京都府中小企業労務改善集団連合会（会長：宮本研二）
京都府官公需適格組合協議会（会長：麻田弘史）
京都府中小企業組合士協会（会長：二正寺敏夫）
京都府中小企業団体職員互助会（理事長：重田和男）

平成30年4月23日（月）
平成30年6月18日（月）
平成30年6月22日（金）
平成30年7月30日（月）
平成30年6月19日（火）
平成30年7月 3日（火）
平成30年6月28日（木）
平成30年6月15日（金）

京都の逸品を贈るカタログギフト

京もの Kyomono 愛用券

京都の伝統を脈々と受け継ぐ
染織や工芸の職人たちの手しごとを集めた
カタログギフト 京もの愛用券とは

カタログを贈られた方がカタログの中から
好きな商品を選べるギフトです。
「京もの愛用券」カタログを送られた方は、
カタログの中から伝統工芸の数々を
ご自分の生活スタイルに合わせ、
好みの「京もの」をお選びいただけます。
お祝いやお返し、引き出物、記念品などに、
上質な贈り物としてご利用ください

—— カタログギフト「京もの愛用券」ご利用の流れ ——

1 カタログのお申込み

京もの愛用券ホームページ又は
電話からお申し込みください。

2 カタログのお申込み

指定の振込口座にお振込みく
ださい。ホームページからお申
込みの場合はクレジットカード
でもお支払いいただけます。

3 カタログのお申込み

お客様に「京もの」引換券ハガキ
付きのカタログをお届けします。
贈り先様への直送も可能です。

4 カタログのお申込み

お客様から贈り先様に「京もの」
引換券ハガキ付きのカタログを
プレゼント。

5 カタログのお申込み

贈り先様がお好きな「京もの」
をカタログから選び、引換券
ハガキに記入の上ポストに投函。

6 カタログのお申込み

引換券ハガキをご投函いただ
くと、送り先様に「京もの」が配達
されます。

カタログギフト
「京もの愛用券」のご注文はこちら

<https://www.kyoto-gift.jp>



お問い合わせ

京都府中小企業団体中央会「京もの愛用券事務局」
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館 4F

TEL

075-314-7131

営業時間 9:00~17:00(土日祝休み)

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

＼他にもこんな特徴があります。／

契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします



経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から
会社を守る制度です！



※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例をご紹介しますこのコーナー。今回は、顧客の視点を重んじた「建具のある居住空間」の提案を通じて、需要の喚起に取り組んでいる組合の事例です。

顧客視点で「建具のある居住空間」を強力に提案

滋賀県建具協同組合（滋賀県）

業者視点から顧客視点へ転換していくことの意識啓発とともに、建具のある居住空間を魅力的に伝えるための撮影技術講習にも重きを置いたことが成果を上げるカギとなった。

背景と目的

生活様式の洋風化に伴う和の建具市場における市場縮小という環境変化に対応するために、平成22年度から建具デザイン集「しがたて建具デザイン集」の発刊に取り組んだ。平成27年度には、顧客視点により一層の重きを置いた「建具のある居住空間」を提案することで需要を喚起すべく、デザイン集を大幅に再編集し、「建具デザイン集『おうみ』」として新たに発刊することとした。

事業・活動の内容と手法

本事業への取り組みは、約1年半をかけ5つのフェーズにより推進した。フェーズ1では、「しがたて建具デザイン集（第1版・第2版）」への取り組みにおける問題点として、業者視点であり顧客目線になっていない点を抽出し、組合員の意識啓発を図った。フェーズ2では、「建具のある居住空間」をわかりやすく魅力的に伝えることをコンセプトとして決定し、「玄関・ホール」「リビング・ダイニング」など6つのカテゴリごとに組合員が実際に制作・納品した建具を中心とした空間写真を多数掲載するという編集方向性を決定した。さらに組合員がそれぞれ魅力的な建具のある居住空間を撮影するための技術講習（フェーズ3）を経て、新たなデザイン集を制作した（フェーズ4）。その後、本カタログを有効活用するための研修会を開催（フェーズ5）し、各組合員がそれぞれの販促活動へと展開するに至った。

本事業は、理事会の下にある研修会等の企画・開催を行

う第一部会内の「しがたてデザイン研究会」において、理事が中心となって推進された。この取り組みにより、本カタログで顧客ニーズを喚起し、当初のデザイン集により建具のバリエーションを提案するという一連の販促プロセスが確立した。また、平成28年度には増加しているリフォーム需要に対応するための共同チラシを展開するなど販促活動は進化しており、2年後を目的にWEB展開にも繋げたいとしている。

成果

本カタログは1,000部発行し、組合員が個々に活用するほか工務店などにも販売した。また、業界の全国大会での販売も併せて行っており、他府県の建具組合にも好評を得ている。これらの成果を生み出した要因は、顧客視点に立たなければならないという組合員の意識改革と魅力的な居住空間を撮影するためにプロのカメラマンによる技術講習を並行して行ったことが大きい。



建具デザイン集「おうみ」



デザイン集の作成・活用のために研修会を実施

《組合DATA》

滋賀県建具協同組合
〒520-0865 滋賀県大津市南郷五丁目2番14号
☎077-531-2012

京都府中小企業団体中央会 機関紙「協同」 有料広告の募集について

本会では、機関紙「協同」の有料広告を募集しています。得られた広告料収入は、中小企業組合をはじめ傘下の中小企業の経営に役立つ有意義な情報提供事業を行うため、有効に活用致します。なお、1月発行の新年号における新年名刺広告につきましては、別途ご案内をお送り致します。

■機関紙「協同」について

- ①発行日 毎月1日
- ②発行部数 1,300部（1月号及び6月号は1,700部）
- ③サイズ等 A4版 8ページ、2色刷り
（9・12・3月号は12ページ）
- ④配布先 本会会員、関係機関等

■掲載対象

本会会員組合、特別会員、賛助会員及び会員組合傘下の企業。

■広告掲載内容について

広告の内容が以下に該当する場合は、掲載をお断り致します。

- ①公の秩序または善良の風俗に反するもの
- ②政治活動・宗教活動・意見広告に関するもの
- ③その他広告媒体に掲載する広告として妥当でないことが会長が認めるもの

■掲載サイズ及び料金について

※掲載場所につきましては、ご相談の上、本会指定の場所となります。

サイズ	掲載料 (1回あたり)	年間掲載料
A4 全面 縦27.2cm×横18.5cm	50,000円	480,000円 @¥40,000
A4 1/2 縦13.3cm×横18.5cm	30,000円	240,000円 @¥20,000
A4 1/3 縦8.8cm×横18.5cm	20,000円	120,000円 @¥10,000
A4 1/6 縦4.3cm×横18.5cm 縦8.8cm×横9.1cm	10,000円	96,000円 @¥8,000

■お問合せ・お申込先

京都府中小企業団体中央会 総務情報課
☎075-314-7131

平成
30
年度

中小企業組合 検定試験

12
月

2
sun

1組合1組合士

組合の明日を拓く組合士



受験資格／特になし

ただし、組合士として認定されるには組合等での実務経験が必要です。

試験科目／組合会計 組合制度 組合運営

願書受付期間／平成30年9月3日(月)～10月15日(月)

受験料／5,000円 (一部科目免除者は3,000円)

試験日／平成30年12月2日(日)

お問い合わせ先

お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会
または全国中小企業団体中央会 (TEL.03-3523-4907)
までお問い合わせください。

試験地

札幌・青森・仙台・秋田・郡山・さいたま・東京・長野・静岡・名古屋・
大阪・松江・岡山・広島・山口・高松・福岡・長崎・大分・鹿児島・那覇

組合士

検索

主催／ 全国中小企業団体中央会

後援／中小企業庁

協力／都道府県中小企業団体中央会

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で管理もラクラク
退職金試算額などをお知らせします。

安全

国の制度だから安心
掛金の一部を国が助成します。

中退共

CHU-TAI-KYO

退職金は直接退職者に
支払われます。

お近くの金融機関等の
窓口でお申込みください。

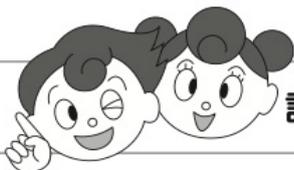
パートタイマーさんも
家族従業員も加入できます。

掛金は、従業員ごとに
16種類から選択できます。

転職先でも引き継げる
「通算制度」があります。

「よし、やるぞ！」の一体感。

働く人が元気な会社。中退共が応援します。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索

お気軽にお問合せください

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

LGBT



以前にも書いたが、「新潮45」がおもしろい。月刊誌の中で、今一番魅力的なのではないか。さて、この8月号のタイトルが「日本を不幸にする朝日新聞」。何人かが、朝日新聞が国に与える弊害について書いている。その特集の執筆者のひとりが自民党比例区選出の杉田水脈議員である。同誌のこの号に寄せたコラム「LGBT支援の度が過ぎる」の中の一文「LGBTには生産性がない」が話題となり、多くの人が彼女を罵倒した。

しかし、内容は、マスコミ（特に朝日新聞）がLGBTを過度に擁護し騒ぎすぎることに対する弊害を述べており、決してLGBTの人たちを非難するものではないと思う。ここで一応LGBTの説明。L=レズビアン。G=ゲイ。B=バイセクシャル。T=トランスジェンダー。LとGはわかるが、BとTは正直、正確には知らなかった。これ知らないと文明人ではないとみなされるらしい。

ところで、彼女は西宮市の職員時代、委員会の傍聴席にいた中核派のヤジをピシャリと注意したというような人であるから、意見は手厳しい。しかし、彼女の発言は言論の自由の範囲内ではないか。前述のコラムの内容も小生には納得できるものである。

それよりも、彼女を罵倒している人たち。その人たちの方が、よほどやり過ぎ、人権を無視した発言をされておられる。「オリンピックまでに杉田水脈を議員辞職させないと日本は野蛮国と蔑まれることになる。これこそ日本の名誉にかかわる。愛国を呼号するものこそ国辱」「安倍はたたき切ってやる」云々。これが、立派な文明人の発する言葉だろうか。「愛国は国辱」だの「たたき切る」だのと。

日本を愛するが故に、地に足をつけ、社員とその家族を守るため、苦しい経営を続けておられる中小企業家の皆さん。頭でっかちの差別主義者の妄言に惑わされないでいただきたい。皆さんの方がよほど現実を直視し、ほんとうの意味で日本を愛しておられるのですから。

さて、結びは同じバカな前文。「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」不法な占領統治法を憲法などと言っている連中を目覚めさせるのが文明国。

会長 渡邊 隆夫

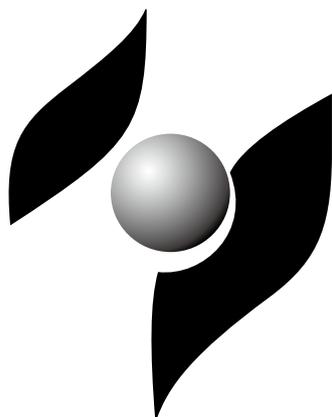
京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員7月分報告より

■今後の動向に注視が必要

	業界景況天気図	概況
全体	6月→7月 	府北部では7月豪雨による浸水被害、鉄道や道路の遮断による物流への影響等、大きな被害が出た。また、連日の猛暑が家電小売業では好影響となっているものの、商店街では人通りが減る等の影響を受けた。今後の動向に注視が必要である。
製造業	繊維工業 	丹後のテキスタイル全般を国内外へブランディングする新ロゴマークの発表会を東京で開催。運用面の詳細はまだ決定していないが、丹後のテキスタイルを世界へ向けて発信する機運がこれまで以上に高まっていくと思われる。
	出版・印刷 	依然として厳しい経営環境下におかれている。
	鉄鋼・金属 	7月度の景況は6月度よりやや減退している。6月の地震に続き7月の豪雨による災害の影響で部品が遅れたり、生産が停止したためと思われる。一部で材料費が高騰しつつあるとの情報があり、今後の動きが気になるところである。
	一般機械等 	設備投資に係る見積もり照会並びに受注が増加の傾向を示している。高負荷が継続しているが、人材確保が困難な状況のなか正常な生産体制の確立に課題を残し、納期対応不備に起因する逸注の増加を危惧する。
	その他製造業 	プラスチック製品製造業では、自動車関連部品は堅調で電装化が進む電子部品も拡大傾向にあるが、一部の家電部品、照明器具部品は減速、鈍化気味となった。
非製造業	卸売 	繊維・衣服等卸売業では、恒常的な販売不振に加え、災害や天候不順などの外的要因が追い打ちをかけ苦況が続いている。原料生糸の高騰分を商品価格に反映できず収益性が悪化している。
	小売 	燃料小売業では、西日本豪雨により組合員の福知山地区で4、宮津地区で2、計6サービスステーションが冠水被害を受け休業を余儀なくされた。一方、猛暑日と夏休みが重なって需要は回復基調となったが、台風12号の影響もあり減販となった。
	商店街 	今月は祇園祭の月でもあり相当観光客の増加が多かったが、あまりの暑さが影響して人の出は期待するほどでもなかったように思われる。大雨と酷暑のダブルパンチで観光客以外のお客さんはかなり減っているようだ。
	サービス 	旅館・ホテル業では、外国人の宿泊が若干減少のところがあるようで、大阪府北部地震の影響と思われる。豪雨では台風時と同様の取消客が出た。
	建設 	6月18日に発生した大阪府北部地震後、7月に入り復旧・修復工事が増え、更には慢性化してきた技術者・技能者不足により、各業界とも対応・対策に困っている状況かと思われる。
運輸・倉庫 	道路貨物運送業では、災害による交通網が異常となり混乱が発生。大手業者では九州行貨物の引受停止もあった。人手不足による状況では正常化までに時間がかかる。事務職員も現場に出る等、収拾に最大限の努力をした。	

快晴 DI値 40以上	晴れ 20~40未満	くもり 20未満~△20未満	小雨 △20~△40未満	雨 △40以上
-------------	------------	----------------	--------------	---------



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

平成30年度中小企業組合検定 受験対策講習会のご案内

主催 京都府中小企業組合士協会

平成30年12月2日（日）に実施される中小企業組合検定試験
を受験される方、今後の受験をご検討されている方等を対象に、
受験対策講習会を開催しますので、ぜひご参加ください。

【組合制度・運営講習会】

日時 平成30年10月19日（金）午後6時～7時30分

場所 京都府中小企業会館 7階707会議室
（京都市右京区西大路五条下ル）

講師 京都府中小企業団体中央会
企画調整課 主事 中林 良純 氏

【組合会計】※必ず電卓をご持参ください。

日時 平成30年10月26日（金）午後6時～7時30分

場所 京都府中小企業会館 7階707会議室
（京都市右京区西大路五条下ル）

講師 京都府中小企業団体中央会
連携支援課 課長 五十棲 雅人 氏



参加料 無料

参加申込 10月12日（金）締め切り。本会ホームページ
より参加申込書をダウンロードし、必要事項を
ご記入のうえFAXにてお申し込みください。
<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/whatsnew/30kumiaishikousyu.pdf>

お問合せ 京都府中小企業組合士協会 事務局
☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

中小企業組合検定の詳細は、全国中央会ホームページをご覧ください。
<http://www.chuokai.or.jp/test/test.htm>

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、
積み立てる、備える、管理する…

京都銀行は、人生のさまざまなシーンで

皆様を応援します。

お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

京都銀行

<https://www.kyotobank.co.jp/>

月刊中小企業連携組織活性化情報 **協同**

9/2018 平成30年9月1日発行 通巻861号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17（西大路五条下ル） 京都府中小企業会館4階

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を
付した12色を創作したうちの「紫式部色」です。